

No.	事務事業名	図書館運営事業				所属部	教育部				
						所属課	国分図書館				
政策体系	政策名	0	4	育み磨きあうまちづくり			課長名	木佐木 美月			
	施策名	0	5	学習機会の充実			所属G(係)	管理図書グループ			
	基本事業名	0	1	学習環境づくり			電話番号	45-5111			
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令				
	一般	1	0	0	6	0	8	159015	管理運営事業	根拠	図書館法
	一般	1	0	0	6	0	8	159080	しみん学習支援公社経費	根拠	霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例 同条例施行規則
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間				
市内に2図書館、5図書室が設置されている。 図書資料の提供、収集、整理、保存等の図書館活動を行い、市民の教養と文化の向上を図るための学習環境を整備する。また、図書館施設の維持管理を行う。 (図書資料の閲覧、貸出・返却、レファレンスサービス、リクエストサービス、相互貸借、複写サービス等) ・貸出冊数 5冊以内 ・貸出期間 15日以内							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 33 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 入館者数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 蔵書冊数	冊
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民(市内に住所を有する者、市内に通勤、通学する者) 図書資料	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	欲しい情報を市民が得られる 図書資料が適切に保存・継承され、利用することができる	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	地区に合った学習を行う環境が整う	名称	単位
		ア 人口	人
		イ 適切に整理・保存すべき図書資料	冊
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 貸出者数(移動図書館分を除く)	人
		イ 市民1人あたりの年間貸出冊数	冊/年
		ウ 適切に整理・保存されている図書資料の割合	%
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	57,699	54,054	55,006	51,394	55,000	55,000
		事業費計(A)	千円	57,699	54,054	55,006	51,394	55,000	55,000
		トータルコスト(A)+(B)	千円	57,699	54,054	55,006	51,394	55,000	55,000
活動指標	ア	人	273,034	271,604	280,633	282,500	283,000	283,500	
	イ	冊	349,742	360,773	371,713	380,000	390,000	400,000	
	ウ								
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383	128,640	128,868	
	イ	冊	349,742	360,773	371,713	380,000	390,000	400,000	
	ウ								
成果指標	ア	人	107,820	110,539	111,514	112,500	113,500	114,500	
	イ	冊/年	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	3.5	
	ウ	%	100	100	100	100	100	100	
上位成果指標	ア	%	29.4	26.4	31.2	31	31	32	
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和33年に市民の学習環境を充実させるため、国分市立図書館が設置された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
個人一人ひとりの情報ニーズが多様化する中、図書館等の本の貸出の利便性や蔵書の充実を図る必要がある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
利用者から図書館の蔵書を増やしてほしい、また図書のネットワーク等の整備を行い、市内全域において本の貸出の簡素化を図ってほしいとの要望がある。図書資料の汚損、破損等の防止対策をとるようにと議会からの意見がある。	

事務事業名	図書館運営事業	所属部	教育部	所属課	国分図書館																			
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																								
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↷	多種多様な図書資料を提供、収集、整理、保存等を行うことによって、市民の教養と文化の向上を図るための学習環境整備に結びついている。																				
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↷	図書館は、市民の教養と文化の向上を図るための学習支援を行う重要な機関であるので、市が実施すべき事業である。																				
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	図書館を利用できる市民と図書資料が対象であり、利用者への充実した情報提供や利便性の向上を図ることは妥当である。																				
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↷	市内の他の図書館(室)との電算ネットワーク化を図ることにより、市民がより利用しやすい環境を提供することができるようになると思われる。																				
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↷	市民が、図書資料を利用して、情報を得ることができなくなる。																				
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↷	他事務事業及び類似事業がない。																				
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	現在の運営を維持し、市民の多種多様な要望に応えるため、事業費の削減の余地はない。																				
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	各事務内容を詳細に検討することにより、無駄な部分を省き、効率の良い部分改善することにより、業務時間の短縮を図れる可能性はある。ただし、勤務のローテーションの関係等により、人員の削減はこれ以上困難である。																				
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↷	図書館はすべての市民が利用可能であるので、公平である。図書館法第17条の規定により、入館料その他図書資料の利用に対するいかなる対価をも徴収できないことになっているので、受益者負担はない。																				
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]																								
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	電算システムの安定した稼働により、効率的で円滑な事業執行ができています。今後市内の他の図書館(室)との電算ネットワーク化を図ることにより、利用者サービスの向上に努める必要がある。																						
有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
効率性 <input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<input type="checkbox"/> 改革改善案 < 市内の他の図書館(室)との電算ネットワーク化を図ることにより、利用者サービスの向上に努める。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持				低下			
成果	コスト																							
	削減	維持	増加																					
向上																								
維持																								
低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 現在の国分・隼人図書館の電算システムは設計が古く、全図書館(室)への拡充が難しいため、全図書館(室)に統一的な新規電算システムの導入が必要である。																								

No.	事務事業名		図書館読書推進事業				所属部	教育部
							所属課	国分図書館
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	木佐木 美月
	施策名	05	学習機会の充実				所属G(係)	管理図書グループ
	基本事業名	02	学習活動の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	08	159010	自主事業	図書館法 子どもの読書活動の推進に関する法律 霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例 同条例施行規則	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
多様な読書行事等への参加を通し、本に接する機会を持つことにより読書への興味を興し、また、子どもたちへの読み聞かせ等を行う読書推進ボランティアの育成を図ることにより、学習活動の推進を図る。 【開催行事】 ブックスタート、おはなし会、おはなしの部屋、緑陰読書、子ども読書の日、植物採集教室、昆虫採集教室、からくり絵本教室、植物名付け会、司書研修会、学校司書と読書ボランティアとの交流会、おはなし王国等		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 33 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア 行事の開催回数	
		回	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
		単位	
		ア 人口	
		人	
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
できるだけ多くの市民に読書に興味をもってもらう		名称	
		単位	
		ア 読書に興味を持った参加者数	
		人	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
自身のテーマに沿った学習機会が得られる		名称	
		単位	
		ア 学習活動を行わない理由として、自身のテーマに沿った学習機会がないことをあげている市民の割合	
		%	
		イ 学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないことをあげている市民の割合	
		%	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,242	1,083	757	788	795
	事業費計(A)	千円	1,242	1,083	757	788	795	800
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,242	1,083	757	788	795	800
活動指標		ア 回	279	299	299	310	310	310
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383	128,640	128,868
成果指標		ア 人	8,761	9,402	9,901	10,500	10,500	10,500
上位成果指標		ア %	12.7	10.1	14.8	11	11	10
		イ %	17.9	17.5	24.6	15	14	13
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
多くの市民に読書に興味をもってもらい、学習活動を推進するため、昭和33年に図書館設置とともに開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
紙媒体の情報よりインターネットなどの新たなメディアを通じた情報の取得が重要視されているが、やはり幼少時期から絵本や児童書に接することが見直されている。また、親子読書活動など本を通じた心のふれあいが、現代社会の中で重要視されてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
ブックスタートなど乳幼児期から本に接することの重要性が、議会でも取り上げられている。	

事務事業名	図書館読書推進事業	所属部	教育部	所属課	国分図書館
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	読書活動推進の様々な取組を進めており、それぞれ成果をあげている。中でもH19年度から実施したブックスタートは、保護者が子どもの幼い時期での絵本の大切さを知り、ボランティアによる「おはなしの部屋」の絵本の読み聞かせの利用者が増えている。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 読み聞かせボランティアの活用策の検討を行う。 市内の他の図書館(室)の読書推進事業との連携を図る。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
市内の各図書館(室)で実施している読書推進事業を役割分担し、それぞれの地域の特性を活かし連携を図る。

No.	事務事業名		移動図書館運営事業				所属部	教育部
	政策名		0 4 育み磨きあうまちづくり				所属課	国分図書館
	施策名		0 5 学習機会の充実				課長名	木佐木 美月
政策体系	基本事業名		0 1 学習環境づくり				所属G(係)	管理図書グループ
	予算科目		会計 一般 1 0 0 6 0 8 159015 事業 管理運営事業				法令根拠	図書館法 霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例 同条例施行規則
電話番号		45-5111						

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
図書館から遠隔地にある地域、住宅団地、小学校等に巡回サービスを実施することにより、図書資料の提供を行い、市民の教養と文化の向上を図るための学習環境を整備する。 ・巡回箇所 75箇所 ・配本箇所 19箇所 ・貸出冊数 10冊(本館貸出と合わせて) ・貸出期間 1ヶ月以内(次回巡回日まで)							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 43 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		ア 巡回箇所数	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		イ 配本箇所数	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民(市内に住所を有する者、市内に通勤、通学する者)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民(市内に住所を有する者、市内に通勤、通学する者)		名称	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民(市内に住所を有する者、市内に通勤、通学する者)		単位	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民(市内に住所を有する者、市内に通勤、通学する者)		ア 人口	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民(市内に住所を有する者、市内に通勤、通学する者)		イ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民(市内に住所を有する者、市内に通勤、通学する者)		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 欲しい情報を市民が得られる		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 欲しい情報を市民が得られる		名称	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 欲しい情報を市民が得られる		単位	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 欲しい情報を市民が得られる		ア 貸出者数(移動図書館分のみ)	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 欲しい情報を市民が得られる		イ 貸出冊数(移動図書館分のみ)	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 欲しい情報を市民が得られる		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 地区に合った学習を行う環境が整う		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 地区に合った学習を行う環境が整う		名称	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 地区に合った学習を行う環境が整う		単位	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 地区に合った学習を行う環境が整う		ア 住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考える市民の割合	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 地区に合った学習を行う環境が整う		イ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 地区に合った学習を行う環境が整う		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	3,917	4,151	3,584	3,916	3,800
事業費計(A)		千円	3,917	4,151	3,584	3,916	3,800	3,900
活動指標		ア 箇所	75	75	75	75	75	75
活動指標		イ 箇所	27	27	27	27	27	27
活動指標		ウ						
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383	128,640	128,868
対象指標		イ						
対象指標		ウ						
成果指標		ア 人	9,845	9,241	9,202	9,500	9,850	10,200
成果指標		イ 冊	43,693	38,927	40,308	45,000	46,000	47,000
成果指標		ウ						
上位成果指標		ア %	29.4	26.4	31.2	31	31	32
上位成果指標		イ						
上位成果指標		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 図書館から遠方地の住民の読書への啓発・読書活動の広域化を図るため、移動図書館車を購入し、昭和43年に巡回を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併を機に巡回箇所を拡大した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市民から巡回箇所を増やしてほしいという要望がある。	

事務事業名	移動図書館運営事業	所属部	教育部	所属課	国分図書館
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ 図書館から遠隔地にある地域、住宅団地、小学校等に巡回サービスを実施することにより、図書資料の提供を行うことは、市民の教養と文化の向上を図るための学習環境づくりに結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ 図書館は、市民の教養と文化の向上を図るための学習支援を行う重要な機関であるので、市が実施すべき事業である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 市民が欲しい情報を得られるように学習環境を整備する必要があることから、対象・意図は適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 現在、75箇所を巡回しているが、巡回箇所を増やして欲しいとの要望もあるので、成果の向上余地はある。しかし、現在の車両、人員体制では現状が精一杯であり、事業の拡充には車両、人員の増がなければ難しい。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 市民が、図書資料を通して、必要な情報を得ることができなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 他事務事業及び類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 事業費のほとんどは燃料費、車検費用、任意保険料等の移動図書館車の維持費である。現時点においてこれ以上の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 事業に要する人件費については、少人数で移動図書館用図書の選書、積み込み、運行、配本等を行っており、巡回箇所も増加している現状では、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 移動図書館はすべての市民が利用可能であるので、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率的で円滑な事業執行ができていますが、運行体制の充実を検討する必要があります。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 移動図書館車両の追加購入等を検討する必要があります。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			▲																		
	低下	▲	▲	▲																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 移動図書館車両の追加購入等による運行体制の充実

No.	事務事業名		郷土資料収集事業				所属部	教育部	
							所属課	国分図書館	
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	木佐木 美月	
	施策名	05	学習機会の充実				所属G(係)	管理図書グループ	
	基本事業名	01	学習環境づくり				電話番号	45-5111	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	図書館法 霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例 同条例施行規則
		一般	10	06	08	159025	郷土誌編纂事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間		
霧島市に関連する郷土資料の収集を行い、整理・保存する。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同じ		ア 収集した資料点数	
		点	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市の歴史、民俗、文化		名称	
		単位	
		アイウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
地域情報や散逸する郷土に関する資料を収集・整理・保存する		名称	
市民の郷土に対する理解と愛着を深める		単位	
		ア 収集した資料点数	
		点	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
地区に合った学習を行う環境が整う		名称	
		単位	
		ア 住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	
		%	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	270	184	208	188	188
	事業費計(A)	千円	270	184	208	188	188	188
	トータルコスト(A)+(B)	千円	270	184	208	188	188	188
活動指標		ア 点	354	330	285	330	330	330
対象指標		ア						
成果指標		ア 点	354	330	285	300	300	300
上位成果指標		ア %	29.4	26.4	31.2	31	31	32

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
霧島市誕生に伴い、新市の郷土誌を刊行するため、平成18年度に開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	郷土資料収集事業	所属部	教育部	所属課	国分図書館
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	郷土に関する資料収集に努めているが、業務のやり方を改善し、効率よく収集作業ができるようにする必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 業務のやり方を見直し、無駄を省き、効率よく収集作業ができるようにする。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 情報収集能力を高める必要がある。